

島おこし協力隊ミッション

ミニコラム 38

「上島の魅力伝えたい」外国人に向け
高校生が個人でボランティアガイド

弓削高校魅力化コーディネーター河村です。
今回は上島町を訪れる外国人観光客に向けて、個人でボランティアガイドを行っている弓削高校生を紹介します。

活動しているのは3年生の合田伊吹君。合田君は千葉県柏市出身で「地元で怠惰な生活を送っていた自分を変え、新たな環境に身を投じたい」との思いから、弓削高校へ進学してきました。

ガイドを始めたきっかけは2年前。町内のゲストハウスでロシアから来た同世代の青年2人と出会い、岩城島を自転車で案内したときに通ります。元々、英語に自信があったという合田君でしたが、青年たちの流ちょうな英語についていけず、「身振り手振りで伝えたいが、全然話せず本当に悔しかった」と振り返ります。

英語の習得に火がついた合田君は、町内の宿泊施設や飲食店で外国人を見かけると、自ら「ガイドさせてほしい」と直談判し、松原海岸や大谷地域など自身が魅力を感じるスポットを紹介。これまでにスウェーデン、フランス、イタリア、カナダなどから訪れた20



高校魅力化コーディネーター
河村 俊秀

30代の観光客10組以上を案内してきました。アンケートでは参加者の8割以上が「ガイドに」とても満足と回答し、感想の中には「日本の若者が何を考えているかわかった。日本の将来展望は明るい」などうれしいコメントも寄せられました。

合田君は英語力の向上に留まらず、「活動を通して行動力が大きく身についた」と語ります。現在は「海の駅舎ふらっと」に自作のチラシを掲示し、ガイド希望者を募りながらさらなる交流の機会を広げています。合田君は「美しい上島町の海を多くの外国人に知ってもらいたいし、価値観が違うさまざまな人々と交流する楽しさを周りの人たちに伝えたい。真の国際人となつて、世の中に羽ばたいていければ」と意欲を燃やします。



△自作のチラシでガイド希望者を募る合田君



△島内の絶景ポイントを案内 本人提供



△ガイド参加者と記念撮影 本人提供



△松原海岸をガイド 本人提供

公 営 塾

塾生が作る「おすすめ本POP」を書店に展示



今年度のゆめしま未来塾では、読書を通して新たな考え方や価値観に触れる機会として、毎月読書会を開催しています。5月・6月の読書会では、地域協力依頼書を活用した活動として、塾生が自分の

おすすめの本を紹介するPOP作りに挑戦しました。完成したPOPは、地域の書店「ゆたかの本屋さん」の店頭に設置していただき、多くの方に見ていただく機会となりました。塾生たちは、本の



魅力を自分の言葉で伝えることの楽しさや難しさを学び、地域とのつながりを実感する貴重な経験となりました。また、この活動にはテレビ局の取材が入り、その様子が6月に放送されました。今後も地域と関わる学びの機会を大切にしていきます。



ゆめしま未来塾
辻村 大樹

学 生 寮

「県総体へのチャレンジ」



こんにちは。ゆめしま寮ハウスマスターの川島です。
5月末から6月初旬にかけて県総体がありました。各部活練習に励み、時には練習試合の後「ただいまー!負けたー!あとちょっとで勝て

たのに!」と帰寮早々に悔しい報告があった時も…。
3年生は県総体が終われば引退。受験前の最後の部活に悔いが残らない様、皆一生懸命取り組んでいました。宿題に部活に塾、受験勉強と

高校生の日々は目まぐるしい忙しさです。そんな中でも懸命に取り組む姿には心打たれるものがあります。



最後の試合を終え帰寮したソフトテニス部の3人。2年生が淋しさから感極まって泣きながらも「今までありがとうございました!」と世代交代。本当にお疲れ様でした。

ゆめしま寮
川島 みほ子